

## 5-2 クラブの参加資格

クラブは補助金プログラムに参加するために、財団の定めるクラブ覚書を読み、これに同意し、署名をして地区へ提出しなければなりません。

地区は毎年、クラブの参加資格認定を行います。

クラブの参加資格に関する要点を次にまとめました。

クラブの参加資格	
目的	参加資格は、財団の補助金を管理するにあたり、 <b>クラブに適切な財務、法律、資金管理の制度が整っている</b> ことを確認するために定められています。
要件内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>●地区が参加資格を満たしていること。</li> <li>●クラブが補助金を受け取るための専用銀行口座を設け、その銀行口座の受取人情報を地区に提供する。</li> <li>●入出金を説明し、項目別に記録した総勘定元帳の整備と保存を確実にする。</li> <li>●収入と支出の明細書を別々に維持する。</li> <li>●補助金に関連する銀行明細書を保管する。</li> <li>●補助金の支出に関連する帳票と全領収書を法律に従い必要期間保管する。</li> <li>●財団の定める授与と受諾の条件を順守し、適正に補助金資金を使用し、中間報告書、最終報告書ならびに提出必要書類（領収書や銀行明細書等）を遅滞なく地区へ提出する。</li> <li>●クラブは、地区の行う補助金の適正使用調査、補助金会計調査に全面的に協力する。</li> <li>●地区ロータリー財団補助金管理セミナーに出席し、覚書を読み、これに同意する。</li> <li>●クラブ会長とクラブ会長エレクトは、クラブの参加資格要件を満たし、これを順守し、確実に維持することを書面にて誓約し、署名して地区へ提出する。</li> </ul>
備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>●クラブに参加資格を与えるのは、地区の責務です。（毎年、更新する必要がある）</li> </ul>